

2023年度

環境経営レポート



【対象期間】2023 年 5 月～2024 年 4 月

【発行年月日】2024 年 9 月 18 日



認証番号 0004553

株式会社阿部製作所

目次

	ページ
1. 環境経営方針	2
2. 組織の概要	3
3. 対象範囲	4
4. 環境経営目標	5
5. 環境経営活動計画	6
6. 取組結果とその評価	7
7. 環境経営目標の実績と評価	8
7. 1環境活動風景	9
8. 次年度の環境経営目標と環境経営計画	10, 11
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認	12
10. 代表者による全体評価と見直し・指示	13

環境経営方針

基本理念

(株)阿部製作所は、環境負荷低減に取り組む世界の製造企業に金型及び部品を供給し、自社の生産においても環境に配慮した継続的改善を行うことで、顧客と共に、自然豊かな環境づくりに貢献する企業を目指し、同時に国連サミットに定める SDGs 目標の達成に貢献します。

行動指針

1. 二酸化炭素排出量の削減に向け、省エネルギー活動に取り組みます。
⇒SDGs 目標 No.13（気候変動抑制に具体的な対策に取り組みます。）
2. 分別の徹底と再資源化の推進に取り組み、廃棄物排出量の削減に努めます。
⇒SDGs 目標 No.14・No.15（適正な廃棄物処理を厳守します。）
3. 節水に取り組み、水使用量の削減に努めます。
⇒SDGs 目標 No.6（節水に取り組み、使った水は適正に処理します。）
4. 製造工程で使用する、薬品・オイル類の適正管理に取り組みます。
⇒SDGs 目標 No.12（環境に良い製品を使用し、グリーン購入にも取り組みます。）
5. 省エネ機器、自動車の EV 化・HV 化・自動運転化に関連した受注フィールドへの新たな参入を目指し活動します。
⇒SDGs 目標 No.9（環境に良い技術・仕事への挑戦を常に行ないます。）
6. 製品不良率の削減に取組み、加工再製作に依るムダの排除に努めます。
⇒SDGs 目標 No.7（エネルギーをムダなく大切に使用します。）
7. 事業活動に関連する環境関連法規則を遵守します。
⇒SDGs 目標 No.17（行政、地域と協力して環境保全に取り組みます。）
8. この方針を全従業員へ周知すると共に、環境経営システムの継続的改善を図っていきます。
⇒SDGs 目標 No.4（全従業員が環境保全に取り組み、ことの重要性をよく理解できるような教育を実施します。）

制定日 2009 年 3 月 9 日

改訂日 2021 年 5 月 21 日

株式会社 阿部製作所
代表取締役社長 阿部 文三

2. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者名

株式会社 阿部製作所

(2) 所在地

本社 岩手県北上市北工業団地 1 番 9 号

関連会社 阿貝精密電子(蘇州)有限公司 蘇州市相城区東橋鎮潘陽工業園 B2-4

(3) 環境担当

管理責任者 高橋こずえ TEL 0197-66-3121 FAX 0197-66-3122

事務局 川原正明 //

エコ委員長 佐藤好浩 //

(4) 事業活動の内容

プレス金型・モールド金型設計製作、各種装置部品および機械部品・治工具類の設計製作

(5) 事業活動規模

2023 年度 4 月決算

売上高 3 億 9 千万円 従業員数 37 名 建屋面積 3811 m²

(6) 社歴

昭和 36 年 9 月 個人会社阿部製作所創業

昭和 48 年 6 月 法人化改組「株式会社 阿部製作所」となる

昭和 63 年 3 月 北上工場建設開始 岩手東芝エレクトロニクス(株)様の協力工場となり

半導体後工程委託加工開始

平成元年 2 月 北上工場完成 花巻より北上市へ新築移転

金型工場金型製造部門稼働開始

平成 12 年 12 月 ISO9001 認証取得

平成 15 年 7 月 中国 阿貝精密電子(蘇州)有限公司 稼働開始

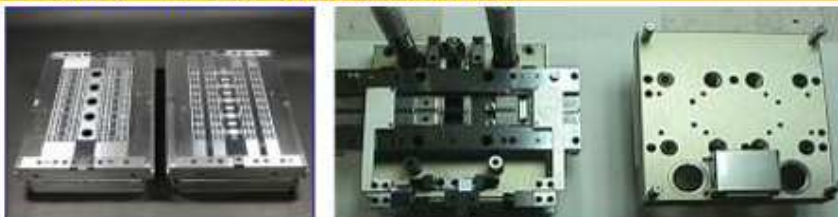
平成 20 年 12 月 ISO9001/2008 年度版へ移行

平成 22 年 1 月 エコアクション 21 認証・登録

平成 28 年 10 月 岩手県職業能力開発協会 技能検定促進功労賞 受賞

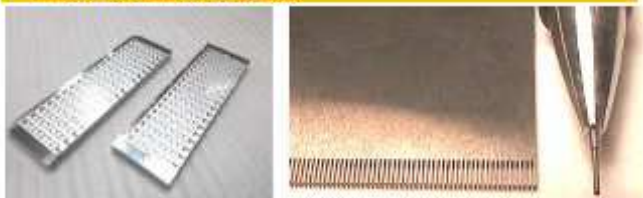
平成 29 年 12 月 ISO9001/2015 年度版へ移行

■ 精密モールド金型・精密プレス金型事業



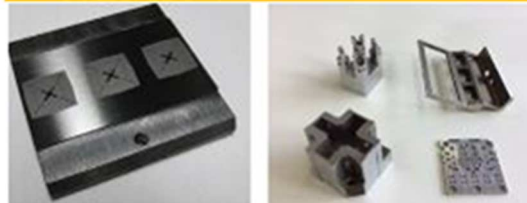
千分の一ミリの精度を必要とする半導体・電子部品等の組立工程で用いる金型を設計～部品製作～組立・試打調整まで一貫して行っております。

■ 精密加工部品事業



金型の使用により磨耗した消耗部品、生産品種切り替えによる交換部品、その他特に厳しい精度の要求される単品部品等、部品単位での設計・製作・修理等にも対応しております。

■ 装置部品事業



各種装置を構成する機械加工部品・治工具等について多品種少量にて1個から、ピンセットで掴む超小物からクレーンで運搬する大物まで各種柔軟に対応しております。

3. 対象範囲

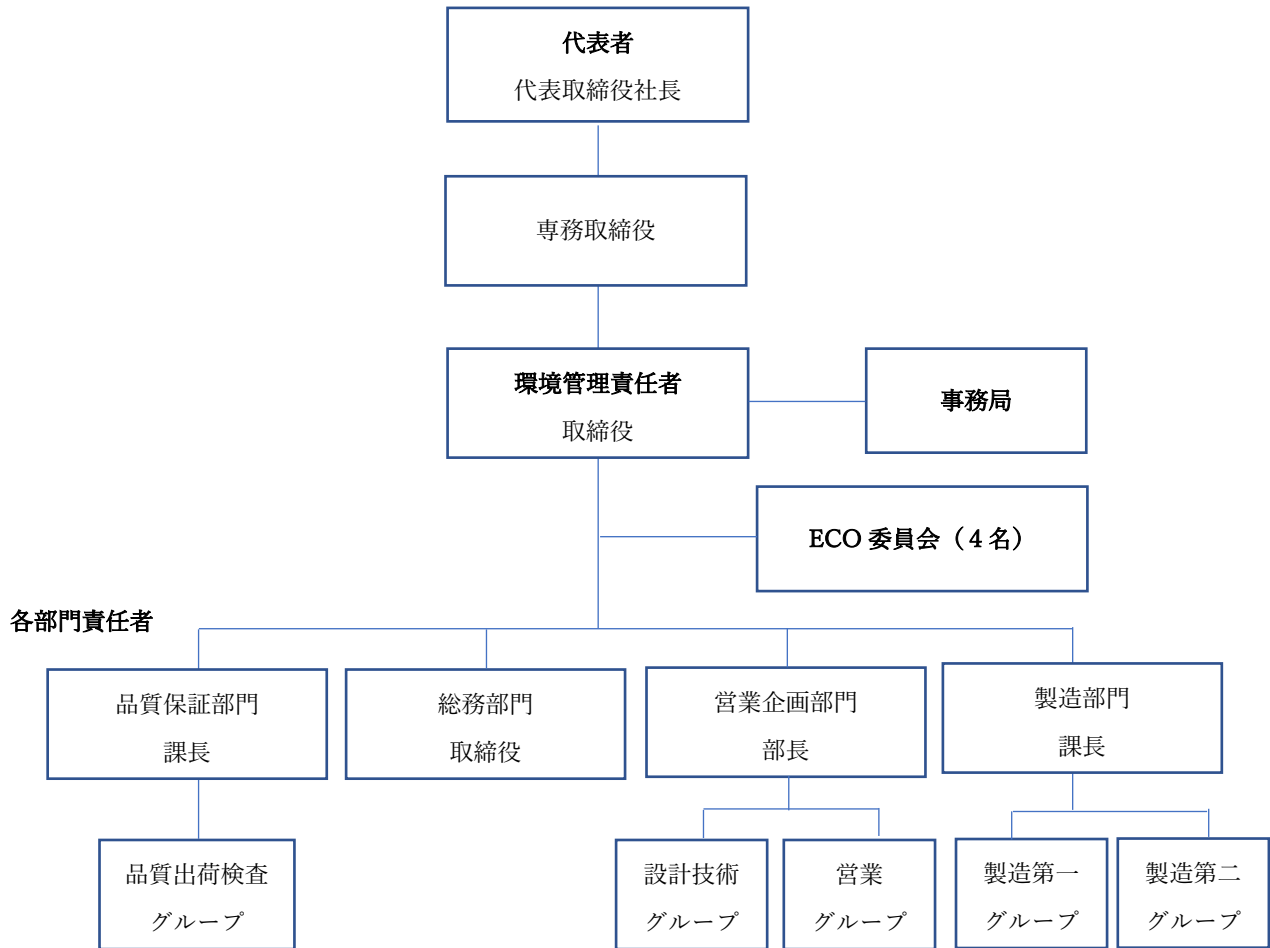
認証・登録範囲

(株)阿部製作所の全組織・全事業活動を対象としています。

対象期間

2023 年 5 月 1 日～2024 年 4 月 30 日

(株)阿部製作所 エコアクション 21 実施体制図



役割	責任と権限
代表者	①代表者は経営における課題とチャンスを整理し明確にする。 ②代表者は環境経営方針を策定する。 ③代表者は実施体制を構築し経営資源の準備をする。 ④代表者は全体の評価と見直しおよび指示をする。
環境管理責任者	①代表者に代ってシステムを構築し運用する。 ②環境経営目標を決め、活動の実施状況を定期的に確認する。 ③代表者に結果を報告する。
部門責任者	①担当の部門において環境経営システムの実施および維持をする。 ②目標達成に向けた、省資源・省エネ・節水等に関する活動を奨励・実施、確認を行う。 ③従業員への教育訓練を実施する。
ECO 委員会	①環境経営目標、省資源・省エネ・節水や、加工で使用する OIL 類の安全管理など、活動案を作成する。 ②各部門へ目標達成に向けた活動の推進および実施をする。 ③教育訓練の計画および実施をする。 ④各環境負荷データの収集・記録管理をおこなう。
全従業員	①部門責任者のもと環境方針の理解と目標達成に向けた省資源・省エネ・節水など環境負荷低減に努める。 ②決められたことは守り、環境活動へ積極的に参加する。
事務局	①環境管理責任者の補佐をする。 ②環境に関する外部コミュニケーションの窓口。 ③継続的な改善活動の推進による組織の活性化に努める。

4. 環境経営目標

活動目標	単位	基準値 2021年	中期削減目標(3年)		
			2022年度	2023年度	2024年度
			0.5%	1.0%	1.5%
二酸化炭素排出量の削減 (電力)	kwh	927,451	922,814	918,176	913,539
	kg-CO ₂	447,031	444,796	442,561	440,326
二酸化炭素排出量の削減 (ガソリン・軽油・灯油・LPガス)	kg-CO ₂	23,517	23,399	23,282	23,164
二酸化炭素排出量合計 (電力 + 化石燃料)	kg-CO ₂	470,548			
CO ₂ 排出量合計 原単位評価	kg-CO ₂ /百万円	1,088	1,083	1,077	1,072
一般廃棄物排出量の削減	t	1.38	1.377	1.370	1.363
産業廃棄物排出量の削減	t	6.26	6.23	6.20	6.17
産廃排出量 原単位評価	t/百万円	0.0145	0.0144	0.0143	0.0143
水使用量の削減	ℓ	635	632	629	625
製造工程で使用する、 薬品・オイル類の適正管理	使用量(kg)	PRTR対象 極少量 (0.13kg)	薬品・OIL類の適正管理		
省エネ機器、自動車の EV・HV・自動運転化関連 受注フィールド参入			関連製品の 製造技術 習得	関連分野への 受注フィールド参入	
製品不良率の削減	%	1.03	0.50	0.75	0.50
環境関連施設の維持管理と 環境美化活動実施			環境関連施設の点検・メンテナンス実施と 環境美化活動の継続実施		
無事故・無災害の為安全活動			無事故・無災害の為の安全運動 の継続実施		
環境・安全教育訓練			教育訓練の継続実施		
環境マネジメントシステム維持・継続			EMS維持・継続		

・二酸化炭素排出係数は環境省(2021年)の東北電力実排出係数0.482kg-CO₂/kwhを使用

・エネルギー使用量(CO₂)に関しては、原単位評価(売上高)とする。

基準年は2021年度実績を用いた。そこから三カ年を中期目標と設定しており(2022年～2024年)今年2024年が中期目標の最終年度となる。目標値は各項目0.5%/年の削減を目指す。但し、製品不良率の削減目標については前年度の発生原因分析結果から都度目標値を設定するものとする。

化学物質使用量の削減に関しては、PRTR制度対象物質を含む薬品は、その使用量が極少量である為、工作機械に使用しているOIL類と同様、適正な管理の維持を目標とする。

5. 環境経営計画(期間:2023 年 5 月～2024 年 4 月)

活動目標	取組内容 (赤字は2023年度見直し箇所)	担当者
二酸化炭素排出量の削減 (電力)	第一工場で使用するエアコンのフィルター清掃	ECO委員会、社員
	室内温度の適正管理(製造現場23±2℃ 検査室22±2℃)	全社員
	室内温度の適正管理(事務所・会議室 夏27℃ 冬22℃)	
	デマンド警報発報時、直ち電力負荷機器をOFF及び社員に周知	事務所社員
	二酸化炭素量の把握(電力使用量・デマンド値データまとめ)	ECO委員会、委員長
	休憩時間や未使用室の消灯、照明機器の消し忘れ防止(掲示物等)	ECO委員会、社員
二酸化炭素排出量の削減 (ガソリン・軽油・灯油・LPガス)	エコドライブの実施(急発進と無駄なアイドリングをしない)	全社員
	事務所・休憩室等の暖房消し忘れ管理(掲示物等)	全社員
一般廃棄物排出量の削減	可燃・不燃・資源の分別徹底(掲示物による明確化)	ECO委員会、社員
産業廃棄物排出量の削減	廃油・廃プラ・汚泥・木材 等の分別、処分作業	ECO委員会、社員
	マニフェストの管理	ECO委員会、委員長
	処分量の岩手県報告遵守	ECO委員会、委員長
	金属屑類の分別、リサイクル化	全社員、ECO委員会
	運搬・処分依頼先の視察(1回以上/年)実施	SEC
水使用量の削減	水道使用量の把握(使用量データまとめ)	ECO委員会、委員長
	水道凍結防止管理として、 適正時期の凍結防止ヒーターON/OFF(10ヶ所)実施	ECO委員会、委員長
	節水の呼び掛け(掲示物等)	全社員、ECO委員会
	手荒い場、トイレ、厨房の水漏れ有無を、 環境点検チェックシートにて定期点検実施	ECO委員会、社員
製造工程で使用する、 薬品・オイル類の適正管理	使用する薬品・オイルの安全使用の為のSDS管理	SEC
	使用量チェックシートによる購入・残量の管理	全社員
省エネ機器、自動車の EV・HV・自動運転化関連 受注フィールド参入	車載用・産業機器用パワー半導体金型、5G用・データー センター用メモリー半導体金型の放電加工条件調査を実施	放電工程
	新規受注獲得の為の営業活動	営業企画部
製品不良率の削減	加工段取り作業の標準化や工程内作業教育の実施	全社員
環境関連施設の維持管理と 環境美化活動実施	全国月週間運動*による環境関連の呼びかけ(ポスター等)	ECO委員会、委員長
	フロン排出法に沿った簡易点検チェックシートによる点検実施	ECO委員会
	「廃棄物置き場」「環境関連施設」を環境点検チェックシート にて点検を行い、異常箇所は処置を実施	
	屋上・敷地内の落葉除去実施による排水経路の詰まり防止	SEC
	敷地内及び会社周辺のゴミ拾い	
	敷地内雑草の除去	
	第一工場動力室の維持・管理 (コンプレッサー安定稼働温度0～40℃の維持)	
	第一工場動力室の維持・管理 (室内の5S)	
無事故・無災害の為の 安全活動	全国月週間運動*による無事故・無災害の為の呼びかけ(ポスター等)	安全衛生委員会、委員長
	避難訓練や消防署による防災講習の計画・実施 (火災予防運動)	安全・衛生委員会
	避難訓練の計画・実施(火災予防運動)	
	社有車・社員のタイヤ・ワイパー交換及び呼び掛け(交通安全運動)	
	社有車のチェックシートによる日常点検(交通安全運動)	
	工場設備安全管理(クレーン・フォークリフトの業者点検)	安全衛生委員会、委員長
環境・安全教育訓練	産廃物排出、処分業者説明会への参加	SEC
	各種環境点検や廃棄物分別処分作業にてOJT実施	
	廃油等漏洩や作業事故など緊急事態の想定訓練の実施	
環境マネジメントシステム 維持・継続	環境経営活動レポート作成・発行	事務局
	エコアクション21審査申し込み	

6. 取組結果とその評価(期間:2023 年 5 月～2024 年 4 月)

作成:2024 年 7 月 30 日 ECO 委員会

活動目標	取組内容 (赤字は2023年度見直し箇所)	結果	評価
二酸化炭素排出量の削減 (電力)	第一工場で使用するエアコンのフィルター清掃	実施出来たが頻度が少なかった	△
	室内温度の適正管理(製造現場23±2℃ 検査室22±2℃)	掲示物により実施定着している	○
	室内温度の適正管理(事務所・会議室 夏27℃ 冬22℃)	掲示物により実施定着している	○
	デマンド警報発報時、直ち電力負荷機器をOFF及び社員に周知	警報は無し。監視出来ている	○
	二酸化炭素量の把握(電力使用量・デマンド値データまとめ)	毎月把握できている	○
	休憩時間や未使用室の消灯、照明機器の消し忘れ防止(掲示物等)	消し忘れは見られず定着出来ている	○
二酸化炭素排出量の削減 (ガソリン・軽油・灯油・LPガス)	エコドライブの実施(急発進と無駄なアイドリングをしない)	安全運転は出来ている。啓蒙活動が出来なかった	△
	事務所・休憩室等の暖房消し忘れ管理(掲示物等)	掲示物により実施定着している	○
一般廃棄物排出量の削減	可燃・不燃・資源の分別徹底(掲示物による明確化)	掲示物により実施定着している	○
産業廃棄物排出量の削減	廃油・廃プラ・汚泥・木材 等の分別、処分作業	分別回収出来ている	○
	マニフェストの管理	常に適正に管理している	○
	処分量の岩手県報告遵守	遵守継続出来ている	○
	金属屑類の分別、リサイクル化	分別リサイクル化出来ている	○
	運搬・処分依頼先の視察(1回以上/年)実施	一箇所視察を実施した	○
	水道使用量の把握(使用量データまとめ)	毎月把握できている	○
水使用量の削減	水道凍結防止管理として、 適正時期の凍結防止ヒーターON/OFF(10ヶ所)実施	実施出来ている	○
	節水の呼び掛け(掲示物等)	掲示物により継続している	○
	手荒い場、トイレ、厨房の水漏れ有無を、 環境点検チェックシートにて定期点検実施	計画通りに実施できている	○
製造工程で使用する、 薬品・オイル類の適正管理	使用する薬品・オイルの安全使用の為のSDS管理	SDS入手遅れあり。他は管理出来ている	△
	使用量チェックシートによる購入・残量の管理	新規購入は無く継続管理中	○
省エネ機器、自動車の EV・HV・自動運転化関連 受注フィールド参入	車載用・産業機器用/パワー半導体金型、5G用・データセンター用メモリー半導体金型の放電加工条件調査を実施	受注低迷期だが、案件の取りこぼしが無いよう加工条件を見出しお客様要望に対応している	○
	新規受注獲得の為の営業活動	昨年度より更に営業活動活性化している	○
製品不良率の削減	加工段取り作業の標準化や工程内作業教育の実施	グループで実施に偏りがある	△
環境関連施設の維持管理と 環境美化活動実施	全国月週間運動*による環境関連の呼びかけ(ポスター等)	ポスター入手し掲示出来ている	○
	フロン排出法に沿った簡易点検チェックシートによる点検実施	簡易点検は出来ている。定期点検が滞っている。	△
	「廃棄物置き場」「環境関連施設」を環境点検チェックシートにて点検を行い、異常箇所は処置を実施	低頻度ではあるが実施している	△
	屋上・敷地内の落葉除去実施による排水経路の詰まり防止	定期的に点検し除去している	○
	敷地内及び会社周辺のゴミ拾い	実施できなかった	×
	敷地内雑草の除去	良く出来ている	○
	第一工場動力室の維持・管理 (コンプレッサー安定稼働温度0～40℃の維持)	手順書作成後定着できている	○
	第一工場動力室の維持・管理 (室内の5S)	手順書作成後定着できている	○
無事故・無災害の為の 安全活動	全国月週間運動*による無事故・無災害の為の呼びかけ(ポスター等)	ポスター入手し掲示出来ている	○
	避難訓練や消防署による防災講習の計画・実施 (火災予防運動)	計画的に実施できている	○
	避難訓練の計画・実施(火災予防運動)	計画的に実施できている	○
	社有車・社員のタイヤ・ワイパー交換及び呼び掛け(交通安全運動)	実施出来ている	○
	社有車のチェックシートによる日常点検(交通安全運動)	月一の点検忘れが多く改善必要	×
	工場設備安全管理(クレーン・フォークリフトの業者点検)	実施出来ている	○
環境・安全教育訓練	産廃物排出、処分業者説明会への参加	参加出来た	○
	各種環境点検や廃棄物分別処分作業にてOJT実施	業者への回収依頼作業含め実施出来ている	○
	廃油等漏洩や作業事故など緊急事態の想定訓練の実施	ここ二年実施出来ていない	×
環境マネジメントシステム 維持・継続	環境経営活動レポート作成・発行	作成時期が遅い	×
	エコアクション21審査申し込み	申込時期が遅い	×
		評価 ○:よく出来た △:もう少し ×:実施出来なかった	

7. 環境経営目標の実績と評価(期間:2023 年 5 月～2024 年 4 月)

活動目標	単位	基準値 2021年	中期削減目標(3年)			2023年度 実績	達成率 (%)	評価
			2022年度	2023年度	2024年度			
			0.5%	1.0%	1.5%			
二酸化炭素排出量の削減 (電力)	Kwh	927,451	922,814	918,176	913,539	957,073	96	△
	kg-CO ₂	447,031	444,796	442,561	440,326	461,309	96	△
二酸化炭素排出量の削減 (ガソリン・軽油・灯油・LPガス)	kg-CO ₂	23,517	23,399	23,282	23,164	21,117	110	◎
二酸化炭素排出量合計 (電力 + 化石燃料)	kg-CO ₂	470,548				482,426		
CO ₂ 排出量合計 原単位評価	kg-CO ₂ /百万円	1,088	1,082	1,077	1,072	1,224	88	×
一般廃棄物排出量の削減	t	1.38	1.377	1.370	1.363	1,066	129	◎
産業廃棄物排出量の削減	t	6.26	6.23	6.20	6.17	8.68	71	×
産廃排出量 原単位評価	t/百万円	0.0145	0.0144	0.0143	0.0143	0.0220	65	×
水使用量の削減	ℓ	635	632	629	625	1712	37	×
製造工程で使用する、 薬品・オイル類の適正管理	使用量(kg)	PRTR対象 極少量 (0.13kg)	薬品・OIL類の適正管理			適正管理を 継続実施		
省エネ機器、自動車の EV・HV・自動運転化関連 受注フィールド参入			関連製品の 製造技術 習得	関連分野への 受注フィールド参入		大面積キャビ ティ放電加工 条件習得中		
製品不良率の削減	%	1.03	0.50	0.75	前年度実績 から検討	0.35	214	◎
環境関連施設の維持管理と 環境美化活動実施			環境関連施設の点検・メンテナンス実施と 環境美化活動の継続実施			概ね実施		
無事故・無災害の為安全活動			無事故・無災害の為の安全運動 の継続実施			計画通り 実施		
環境・安全教育訓練			教育訓練の継続実施			実施出来 なかった		
環境マネジメントシステムの 維持・継続			EMS維持・継続			計画より遅れ		

【達成率 ⇒ ◎:105%以上 ○:100%以上 △:95%以上 ×:90%以上】

・二酸化炭素排出係数は環境省(2021年)の東北電力実排出係数0.482kg-CO₂/kwhを使用

・エネルギー使用量(CO₂)に関しては、原単位評価(売上高)とする。

弊社エネルギー使用割合のおよそ 95%を占める電力の二酸化炭素排出量は、削減目標値 918,176Kwh に対し、実績 957,073Kwh で 38,897Kwh オーバー、昨年の実績から約 7,000Kwh 増加し僅かに目標未達であった。

また、納品など運搬業務で使用する社用車の燃料使用量は、CO₂ 排出量換算で目標 23,282kg-CO₂に対し、実績 21,117kg-CO₂と二期連続目標達成。しかし、それら電力と化石燃料を合わせたトータルの CO₂ 排出量原単位評価(売上高百万円単位で割る)は、目標 1,077kg-CO₂/百万円に対して、実績 1,224kg-CO₂/百万円と目標を達成することは出来なかった。2023 年度は売上高が大きく減少したにも関わらず、電力使用量は横ばいであった状況が影響している。来期は売上の改善に努め原単位評価での達成も目指す。

一般廃棄物排出量の削減は連続で目標達成。着実にゴミの減量化が定着している。産業廃棄物排出量の削減は、目標 6.20t に対し、実績 8.68t と 2.48t のオーバーであったが、一部製品で端材が多く残る仕様の物があった為であり、全て有価物としリサイクル回収済み。分別含め再資源化に向けた活動を継続する。水使用量については、大きく目標を下まわった。原因は老朽化による漏水である。業者による漏水箇所の特定はかなり難航したもの、屋外地下配管の工事で無事復旧。現在は通常の使用量となった。継続し節水の活動に努める。社内不良率の削減(作り直しを減らす)は、大きく目標をクリアした。加工段取り等、作業指導の充実が図られた効果の現れである。

社員およびテナントの方々と合同で 総合訓練を実施しました。



花壇を整備してお花を植えました



色あせた構内の 標識を更新しました



8. 次年度の環境経営目標と環境経営計画(期間:2024 年 5 月～2025 年 4 月)

活動目標	単位	基準値 2021年	中期削減目標(3年)		
			2022年度	2023年度	2024年度
			0.5%	1.0%	1.5%
二酸化炭素排出量の削減 (電力)	kwh	927,451	922,814	918,176	913,539
	kg-CO ₂	447,031	444,796	442,561	440,326
二酸化炭素排出量の削減 (ガソリン・軽油・灯油・LPガス)	kg-CO ₂	23,517	23,399	23,282	23,164
二酸化炭素排出量合計 (電力 + 化石燃料)	kg-CO ₂	470,548			
CO ₂ 排出量合計 原単位評価	kg- CO ₂ /百万円	1,088	1,083	1,077	1,072
一般廃棄物排出量の削減	t	1.38	1.377	1.370	1.363
産業廃棄物排出量の削減	t	6.26	6.23	6.20	6.17
産廃排出量 原単位評価	t/百万円	0.0145	0.0144	0.0143	0.0143
水使用量の削減	ℓ	635	632	629	625
製造工程で使用する、 薬品・オイル類の適正管理	使用量(kg)	PRTR対象 極少量 (0.13kg)	薬品・OIL類の適正管理		
省エネ機器、自動車の EV・HV・自動運転化関連 受注フィールド参入			関連製品の 製造技術 習得	関連分野への 受注フィールド参入	
製品不良率の削減	%	1.03	0.50	0.75	0.50
環境関連施設の維持管理と 環境美化活動実施			環境関連施設の点検・メンテナンス実施と 環境美化活動の継続実施		
無事故・無災害の為安全活動			無事故・無災害の為の安全運動 の継続実施		
環境・安全教育訓練			教育訓練の継続実施		
環境マネジメントシステム維持・継続			EMS維持・継続		

・二酸化炭素排出係数は環境省(2021年)の東北電力実排出係数0.482kg-CO₂/kwhを使用

・エネルギー使用量(CO₂)に関しては、原単位評価(売上高)とする。

次年度(2024 年度)は、上記のように基準値(2021 年度実績)から1. 5%の削減を目標とします。
また今期実施出来なかった取組(会社周辺のゴミ拾い、環境関連教育訓練など)を計画し実施します。
また、防災安全面での火災避難訓練を遊休建屋のテナント様と合同で継続実施していきます。

活動目標	取組内容	担当者
二酸化炭素排出量の削減 (電力)	第一工場で使用するエアコンのフィルター清掃	ECO委員会、社員
	室内温度の適正管理(製造現場23±2℃ 検査室22±2℃)	全社員
	室内温度の適正管理(事務所・会議室 夏27℃ 冬22℃)	
	デマンド警報発報時、直ち電力負荷機器をOFF及び社員に周知	事務所社員
	二酸化炭素量の把握(電力使用量・デマンド値データまとめ)	ECO委員会、委員長
	休憩時間や未使用室の消灯、照明機器の消し忘れ防止(掲示物等)	ECO委員会、社員
二酸化炭素排出量の削減 (ガソリン・軽油・灯油・LPガス)	エコドライブの実施(急発進と無駄なアイドリングをしない)	全社員
	事務所・休憩室等の暖房消し忘れ管理(掲示物等)	全社員
一般廃棄物排出量の削減	可燃・不燃・資源の分別徹底(掲示物による明確化)	ECO委員会、社員
産業廃棄物排出量の削減	廃油・廃プラ・汚泥・木材 等の分別、処分作業	ECO委員会、社員
	マニフェストの管理	ECO委員会、委員長
	処分量の岩手県報告遵守	ECO委員会、委員長
	金属屑類の分別、リサイクル化	全社員、ECO委員会
	運搬・処分依頼先の視察(1回以上/年)実施	SEC
水使用量の削減	水道使用量の把握(使用量データまとめ)	ECO委員会、委員長
	水道凍結防止管理として、 適正時期の凍結防止ヒーターON/OFF(10ヶ所)実施	ECO委員会、委員長
	節水の呼び掛け(掲示物等)	全社員、ECO委員会
	手荒い場、トイレ、厨房の水漏れ有無を、 環境点検チェックシートにて定期点検実施	ECO委員会、社員
製造工程で使用する、 薬品・オイル類の適正管理	使用する薬品・オイルの安全使用の為のSDS管理	SEC
	使用量チェックシートによる購入・残量の管理	全社員
省エネ機器、自動車の EV・HV・自動運転化関連 受注フィールド参入	車載用・産業機器用パワー半導体金型、5G用・データ センター用メモリー半導体金型の放電加工条件調査を実施	放電工程
	新規受注獲得の為の営業活動	営業企画部
製品不良率の削減	加工段取り作業の標準化や工程内作業教育の実施	全社員
環境関連施設の維持管理と 環境美化活動実施	全国月週間運動*による環境関連の呼びかけ(ポスター等)	ECO委員会、委員長
	フロア排出法に沿った簡易点検チェックシートによる点検実施	ECO委員会
	「廃棄物置き場」「環境関連施設」を環境点検チェックシート にて点検を行い、異常箇所は処置を実施	
	屋上・敷地内の落葉除去実施による排水経路の詰まり防止	SEC
	敷地内及び会社周辺のゴミ拾い	
	敷地内雑草の除去	
	第一工場動力室の維持・管理 (コンプレッサー安定稼働温度0～40℃の維持)	
	第一工場動力室の維持・管理 (室内の5S)	
無事故・無災害の為の 安全活動	全国月週間運動*による無事故・無災害の為の呼びかけ(ポスター等)	安全衛生委員会、委員長
	避難訓練や消防署による防災講習の計画・実施 (火災予防運動)	安全・衛生委員会
	避難訓練の計画・実施(火災予防運動)	
	社有車・社員のタイヤ・ワイパー交換及び呼び掛け(交通安全運動)	
	社有車のチェックシートによる日常点検(交通安全運動)	
	工場設備安全管理(クレーン・フォークリフトの業者点検)	安全衛生委員会、委員長
環境・安全教育訓練	産廃物排出、処分業者説明会への参加	SEC
	各種環境点検や廃棄物分別処分作業にてOJT実施	
	廃油等漏洩や作業事故など緊急事態の想定訓練の実施	
環境マネジメントシステム 維持・継続	環境経営活動レポート作成・発行	事務局
	エコアクション21審査申し込み	

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社に適用される主な環境関連の法規等の遵守状況

法令等の名称	適用対象	法規制内容	実施状況	遵守状況
廃棄物処理法	産業廃棄物 マニフェスト管理	: A票 5 年間保管する : 毎年県に交付状況を報告する : 写しの交付無い場合は、必要な措置を講じ 知事に報告する (B2、D票: 90日以内、特管が60日) (E票: 180日以内)	2024年6月21日に 岩手県南振興局へ 提出済み	○
	一般廃棄物 産業廃棄物	: 許可を受けた産業廃棄物収集運搬業者に委託する : 契約書の保存 5 年	岩手県の許可を受けた 業者に依頼している	○
岩手県条例 (循環型地域社会の 形成に関する条例)	産業廃棄物委託業者	: 委託業者の適正処理能力と処分状況を 視察する (1回以上/年)	2023年9月27日に 廃棄物最終処分場 1 社視察実施済み	○
改正フロン排出 抑制法	第 1 種特定製品 : 業務用エアコン : コンプレッサー用 エアドライヤー : 冷蔵・冷凍機器	: 業務用冷凍空調機器は3ヵ月/1回以上の 「簡易点検」を実施する : 7.5kw以上50kw未満の機器は3年に1回以上の 「定期点検」を実施する	簡易点検は実施済み 定期点検は実施出来なかった	△
		: 廃棄・譲渡者は回収依頼書または、 委託確認書を交付し、3 年間保存する	依頼書など、 適正に保管している	○
消防法 (危険物関連)	避難訓練	: 防火管理者は消防計画の作成報告をおこなう : 避難訓練の計画と結果報告をおこなう	2023年10月18日 総合訓練実施済み	○
	少量危険物 貯蔵取扱い	: 指定数量の1/5以上、指定数量未満の保管を する場合少量危険物貯蔵取扱い届出を行なう	2023年10月31日 消防署へ「火花を生ずる設備」 放電加工機の設置届出済み	○

関係当局より違反等の指摘や近隣住民から苦情などはありませんでした。

10. 代表者による全体評価と見直し

項目	評価	改善及び指示
環境経営方針	SDGS 目標が年代を超えて一般市民にも知れわたり、当社の「環境経営方針」が世の中のニーズと合致し、より活動への理解が得られやすい状況になった。	方針の見直しは必要ありませんが、地域貢献活動の一環として行なっている「北上テクノメッセ」への参加においては、地域の子供たちに、SDGS 目標の重要性とともにものづくりの楽しさを伝授してください。
環境経営目標	前期からの売上が17%減少しても、電力使用料は全く減少しないため原単位評価で大きく目標未達した。裏を返せば売上が17%増加しても電力使用料は比例して増えない。「費用逓減の法則」「限界最小固定費の法則」が金型事業の特質であり、売上の最大化が最もエコの方策である事業構造が浮き彫りになった。	業界の不況により売上が最大化できない場合、取る手段は原価低減、経費削減しかありません。毎日、一日単位の売上は皆が把握しているのに、毎日一日単位で仕入で何をいくらで買っていくらお金を使ったのかを社長以外の管理者が誰も把握していません。是非改善してください。
環境経営計画 および 実施体制	キャビティブロックの製作数は、前期年間194本から当期年間126本に大きく減少した。不良再製作は前期7本から当期3本、売値でカバーできない損失は前期360万円から当期100万円と、キャビティの不良再製作は確実に減少し、エコに貢献していると評価します。	さほど難易度の高くない、しかも、定期的にリピートしている部品の不良再製作が目立ちます。特に切削部品はサイズが大判化しているので材料の買い直しは全くエコに反する行為です。手順書に充実と徹底により改善願います。

全体評価

生成 AI 向け半導体 (GPU) の登場と需要の激減により、半導体後工程はかつてない脚光をあび、アドバンストパッケージとして進化を始めた。我々が関わるモールド工程も、従来のトランスファー方式主流からコンプレッション方式主流へと一気に転換した。ランナーなど樹脂の廃棄する部分が少ないエコな手法であるため当然の帰結と言える。金型製造技術も重点が大きく変化するため、当社の技術が陳腐化しないよう試行錯誤する必要があると思います。

新規製品のトライ＆エラーは中小企業にとっての試験研究費であり、決して環境経営方針に反するものではないと確信していますので、どんどん新しい、やった事のない仕事にチャレンジしてください。

以上